

夢を追う卒業生 その5 平成30年9月12日

何にでもトライ！ 今を楽しむ私の大学生活

◇今回は、山田真央さん（岐阜聖徳学園大学教育学部英語専修）のレポートです！

はじめに

関高生の皆さん、こんにちは。2016年度関高卒業生の山田真央です。私は現在、岐阜聖徳学園大学教育学部学校教育課程英語専修に所属しています。また、この一年は英語の勉強のため、オーストラリアのパーズにて留学生活を送っております。このレポートで、私の大学生活がどのようなものかを、関高生の皆さんに少しでも知ってもらえれば幸いです。

大学生活

私は物心がついた時から、学校の先生になりたいと思って生きてきました。はっきりと先生になる夢を意識した瞬間は自分でも覚えていませんが、小さいころから先生に囲まれて生活してきたのが一番の要因だと思います。だから、大学見学は教育学部しか行っていません。教育学部のある大学を調べていた時に、岐阜聖徳学園大学を見つけました。実習の制度が整っており、卒業生の多くが先生として活躍しているのでこの大学に行きたいと思いました。

教育学部では、その名の通り学校教育を学ぶところであり、将来教員を目指す人が多いです。他学部の事情はよく分かりませんが、みんなが教員になるという一つの目標に向かって切磋琢磨できる環境は、教育学部ならではの光景だと思います。よって教員になるための専門学校みたいに捉えることもできます。授業の内容は大きく分けて、専門科目と教職科目に分かれます。専門科目では、各専修に分かれて自分の選んだ教科について学び、その教科の専門性を高めます。私の場合は英語です。教職科目では、学校現場に入ったときに必要となる知識や技術を身につけるため、教職の意義、基礎理論や、子どもの発達について、生徒指導法などを学びます。また、1年のときから地域の学校に赴き、実際の学校現場を体験します。その時に出会った小学校の児童から「山田先生」と呼んでもらえた時、まだ先生ではないものも、とてもうれしく思いました。

フレンドシップ活動

私はサークルや部活動には入っていませんが、「フレンドシップ活動」という、授業の一環でもある子ども理解を目標とした活動をする団体に所属しています。この活動では、年に7回大学の近隣に住んでいる小学生を大学に招き、子どもたちと1日過ごします。皆さんも小さいときに憧れたであろう、お兄さんお姉さんと呼ばれる人を精一杯演じています（笑）。その当日に向けて、毎回数週間前から昼休みや授業後に集まり、企画を考え、当日使うものを作る作業をしています。単に子どもに楽しんでもらうような企画を考えるだけでなく、どんなことなら興味を持ってもらえるか、子どものどのような姿をみたいのか、何を学んで帰ってほしいのか等々、企画会議では勉強よりも頭を使い、いろいろな可能性を一生懸命考えています。ちなみに私は、畑をテーマにした部署に所属していて、さつまいもやトウモロコシ、い

ちごなどの栽培をしています。

私は、身近に年下の子がいない環境で育ってきたので、初めてフレンドシップ活動をやった時はかなり衝撃を受けました。相手が小学生なので、わかりやすい言葉を使わなければいけないし、少し大げさに話したほうが子ども受けすると分かりました。この活動での経験は、確実に将来教員になった時に役立つであろうと思っています。また、一緒に活動する仲間は、大学生活においてもかけがえのない大切な仲間になってきており、卒業後も連絡を取り合える仲になると信じています。授業なので一応単位はもらえますが、それ以上の価値観がある活動です。



留学生活

初めにも少し述べましたが、私は現在大学を休学してオーストラリアのパースで留学生活を送っています。留学を決意した理由は、日本から離れ違う国での生活を体験したかったことに加え、将来英語の先生になるにあたって、しっかりとした英語を使えることや英語圏の文化を経験したことが強みになると思ったからです。

私は一年間学生として、語学学校に通っています。初めて来たときは英語を聞けない、話せない典型的な日本人でした。さらにシャイな性格があるせいで話すことが恥ずかしくて仕方ありませんでした。授業中はほかの生徒は先生とたくさん話をする中、私はみんなの話をただ聞くだけ。でもある時、先生や友達から「Don't be shy! Here is not Japan but Australia.」と言われました。その言葉を聞いたとき、後から振り返った時後悔しないようにしたいと思い、もっと積極的に話そうと思いました。話すことは今でも難しいですが、自分の気持ちを伝えるということをあきらめないように日々頑張っています。



また、授業だけではなく、世界中から様々な目的をもってパースに来ている人々と出会ったことで、日本にいたら絶対に知らなかったことも知れたし、たくさんの価値観に触れることができました。私の留学生活は、あと4か月で終わってしまうので、今という瞬間を後悔しないよう、精一杯に楽しんでい

ます。

さいごに

私は高校時代に1つだけ未練があります。それは、憧れだった吹奏楽部に入らなかったことです。入学直後の授業の後は疲れてしまって、部活動見学に行かず家に帰って寝てしまいました(笑)。そのこともあって大学生活は後悔しないように何もかもトライする！と決めました。何もかもが上手くいくか、自分に合うかはわかりませんが、最初の一步を踏み出すことが何よりも大切だと思います。

私の大学生活はまだ3年残っています。私自身も今後の大学生活が楽しみで仕方ありません。高校生の皆さんに素敵な大学生活がやってくることを心から願っています。

